

建築を専門とする気鋭のキュレーターが アメリカ・カナダより8名来日 10月13日～27日

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、2009年より米国の主要美術館の学芸員を招へいし、日本美術についての知識、理解を促進する「米国学芸員招へいプログラム」を実施しています。（右写真は、昨年招へい時に実施したシンポジウムの様子）



本年は建築をテーマに、米国から7名、カナダから1名の美術館学芸員、研究者及び建築家を招へいし、各地の視察や建築専門家とのディスカッションを通じて、日本の建築や都市計画の最前線、また東日本大震災被災地における専門家の取り組み等を紹介いたします。また大学との連携による、シンポジウムや意見交換会を実施することで、専門家同士の学術的な交流を推進します。また、名古屋と東京にて現在関連シンポジウムの開催を予定しています。詳細は決定次第、公式HPにて発表いたします。なお、報道関係者様でシンポジウム及び本プログラムについてご取材をご希望の場合は下記担当者までご連絡ください。

【招へい期間】2013年10月13日（日）～10月27日（日）

【主なプログラム】

- (1) 東京及び千葉の建築、都市視察
- (2) あいちトリエンナーレ2013及び瀬戸内国際芸術祭2013視察
- (3) 東日本大震災被災地の現状視察
- (4) 東京（東京大学）、名古屋（楽運寺）におけるシンポジウム及び仙台（東北大学）での意見交換会
- (5) 建築家、研究者との意見交換（伊東豊雄氏、隈研吾氏、五十嵐太郎氏ほか）

【招へい者】

Darrin Alfred（ダリン・アルフレッド）	デンバー美術館 アソシエイト・キュレーター
Sarah Herda（サラ・ヘルダ）	グラハム財団 ディレクター
Timothy Hyde（ティモシー・ハイド）	ハーバード大学デザイン大学院アソシエイト・プロフェッサー
Maria Nicanor（マリア・ニカノール）	ソロモン・R・グッゲンハイム美術館 アソシエイト・キュレーター
Inderbir Singh Riar（インデルビール・シン・ライアー）	カールトン大学講師
Zoë Ryan（ゾエ・ライアン）	シカゴ美術館 キュレーター
Mark Wasiuta（マーク ワシウタ）	コロンビア大学 アシスタント・プロフェッサー
Peter Zellner（ピーター・ゼルナー）	建築家 ZELLNERPLUS代表

【事業に関するお問合せ】

国際交流基金 文化事業部米州チーム（担当：岡部、川戸、山田）
〒160-0004 新宿区四谷4-4-1 Tel: 03-5369-6061 Fax: 03-5369-6038

【取材のお問合せ】

平昌子（TAIRAMASAKO PRESS OFFICE）Tel: 090-1149-1111 info@tmpress.jp